

eller]と認識している研究者、モデル的アプローチにしばしば遭遇する複雑系などを対象にする研究者、そして、その他の研究者もそれなりに眺める程度に読むのもいいかも知れない。

以下に、前書きから最初の部分を引用する；『人類は常に自分の限界を新しい地平を切り開くチャンスと考えてきた。今日の技術的進歩は、今がこの挑戦の時であることを気付かせてくれる；つまり、「モデル」という手法によって、それがなければ観測することも説明することもできないような現象や問題に新しい洞察力を得ることができるのである。モデルを使いこなす専門家の見方に応じて、例えばDarwinのように過去へ遡って、「種の進化モ

デル」を用いることもあれば、将来の洪水や干ばつなどの大災害の「予測モデル」を作る場合もある。もちろん、人の作ったこれらのモデルは完全ではないけれど、問題解決の助けにはなるのである。政治家は、これらのモデルから得られる結論を利用しなければならないが、彼等がそのモデルの妥当性までも評価することができるとは期待できないため、さらに高度な資質をもった助言者をも必要とするのである。』

とすると、政治家を目指すひと、あるいはそのアドバイザーになる可能性のあるひとを読んだほうがいいかもしれない。

(海洋資源環境研究部門 岸本清行)

お知らせ

地質標本館 2003年度野外観察会

「霞ヶ浦周辺の地層と化石」

私たちが住む関東平野の地下には、太古の海でたまった地層が隠れており、そこからたくさんの化石が見つかります。霞ヶ浦周辺の崖では、10～20万年前に「古東京湾」という海でたまった地層や当時生きていた貝の化石を観察することができます。今回の観察会では、「古東京湾」の海辺の砂の観察と貝化石の採集を行います。みなさんも太古の渚で“潮干狩り”をしてみませんか？

日 時：2003年7月19日土曜日

行き先：茨城県霞ヶ浦町・玉造町・大洋村（マイクロバスを使用）

集 合：地質標本館前駐車場 午前8時集合

解 散：地質標本館前駐車場 午後6時予定

募集人員：約20名（申し込み多数の場合抽選）

参加資格：小学生高学年以上

（小学生は保護者同伴）

参加費：保険代十有料施設入館料

（合計大人360円，小人200円）

申し込み方法：往復はがき

申し込み宛先：

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

地質標本館事務室 宛て

※下記の事項を必ず往復はがきに記入してください。

- ・参加者全員の名前と年齢(学年)
- ・代表者の住所
- ・代表者の電話番号
- ・代表者のE-mailアドレス(お持ちの場合)

締め切り：6月30日必着

※抽選結果は7月5日までに連絡いたします。

問い合わせ先：

地質標本館事務室

電話：029-861-3751

FAX：029-861-3746

※協賛：学園都市の自然と親しむ会